



2022 年 6 月 1 日
安全衛生・環境部

2022 年度全国安全週間・活動方針

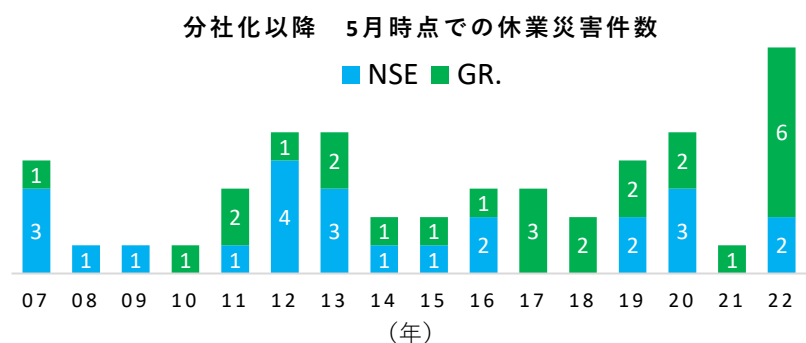
1. はじめに

日鉄エンジニアリング並びにグループ会社、国内外の協力会社の皆さん、ご安全に！

6 月 1 日より全国安全週間の準備期間が始まります。下図に示すとおり、足下 5 月時点での日鉄エンジニアリンググループにおける安全成績は、分社化以降最悪のものとなっています。我々はこの由々しき事態から脱するためにも、本期間を契機とし

・「管理(基地店社)」と「現場」が一体となった活動の推進、

・「安全感性」の強化、にて災害の連鎖を断ち切りましょう。そのためには年初に掲げた安全活動計画が実行されているか、PDCAを着実に回すことで点検し、本年後半の安全活動につなげてください。



2. 全国安全週間活動の基本方針

- (1) 一年の折返しにあたる本週間を今年前半の振り返りと後半スタートへの契機と位置付ける。
- (2) 今年前半に生じた災害での災害要因を復習し、自部門での類似災害防止に確実につなげる。
- (3) 作業計画やルール等の管理面、および人に起因する行動面での課題に重点的に取り組む。

3. 重点活動事項

(1) 災害事例の振り返り(会議体等を通じ現場へ再度共有)

- ① 本年生じた災害事例を再度周知し啓発意識を高める。
- ② 上記災害状況において自部門にて類似点がある場合は再発防止が図られているか点検する。

(2) 管理(基地店社)と現場との「双方向連携」による安全活動の推進

- ① 工事計画審議や事前のリスクアセスメント等は店社スタッフも必ず参画し計画確度を高める。
- ② 工事の節目や予定の変更においては手順や要領を見直し再度KYを必須ルールとして厳守する。
- ③ 部長室長層は現場巡視やパトロールを行い課題抽出とアドバイス、現場激励を推進する。

(3) 行動面での災害要因の排除

- ① 指差呼称や KY 意識(一呼吸待て!)の習慣化を全員で促進する。
- ② 現場管理者は声掛けや啓発を率先垂範し相互啓発効果を高める。

(4) 熱中症への対策徹底

- ① WBGT の掲示やポスター、啓発用品等で熱中症に対する危険意識を高める。
- ② 発症時は迅速かつ適切な対応にて重篤化を回避する。

以上

2022 年度全国統一スローガン：『 安全は 急がず焦らず怠らず 』